

第1回賛助会員向けセミナー
2016.11.06

本学医学部の使命と地域医療教育

福田 寛

東北医科薬科大学 医学部部长



東北医科薬科大学

福室キャンパス

附属病院

22診療科 466床
(H31年 600床)



医学部

医学科 100名

小松島キャンパス



昭和14年創立、77年間の医療人養成の実績

薬学部

薬学科(6年制 300名)
生命薬科学科(4年制 40名)
薬学研究科

- 卒業生総数—2万名余
- 東北地方の本学出身病院薬剤師 48.3%
- 癌研究所設置(昭和34年—私立薬科大学初)
現在は、「分子生体膜研究所」に改組
- 大学院設置(昭和37年—私立薬科大学初)
- 附属病院設置(平成25年—単科薬科大学初)

本学の教育理念

本学は、「われら真理の扉をひらかむ」という建学の精神のもと、以下の三つの教育理念を掲げる(医学部も共通)

- 思いやりの心と高い倫理観を持ち、専門的な知識と能力を兼ね備えた、社会に貢献できる人材を育成します
- 真理の探究を志し、自ら課題を求め自分の力で解決できる人材を育成します
- 友情を育み、人間形成に努めるとともに、国際的視野に立って活躍できる人材を育成します



福田 寛(医学部長)



高柳 元明 理事長・学長



大野 勳
(医学教育推進センター長)

東北医科薬科大学医学部の使命

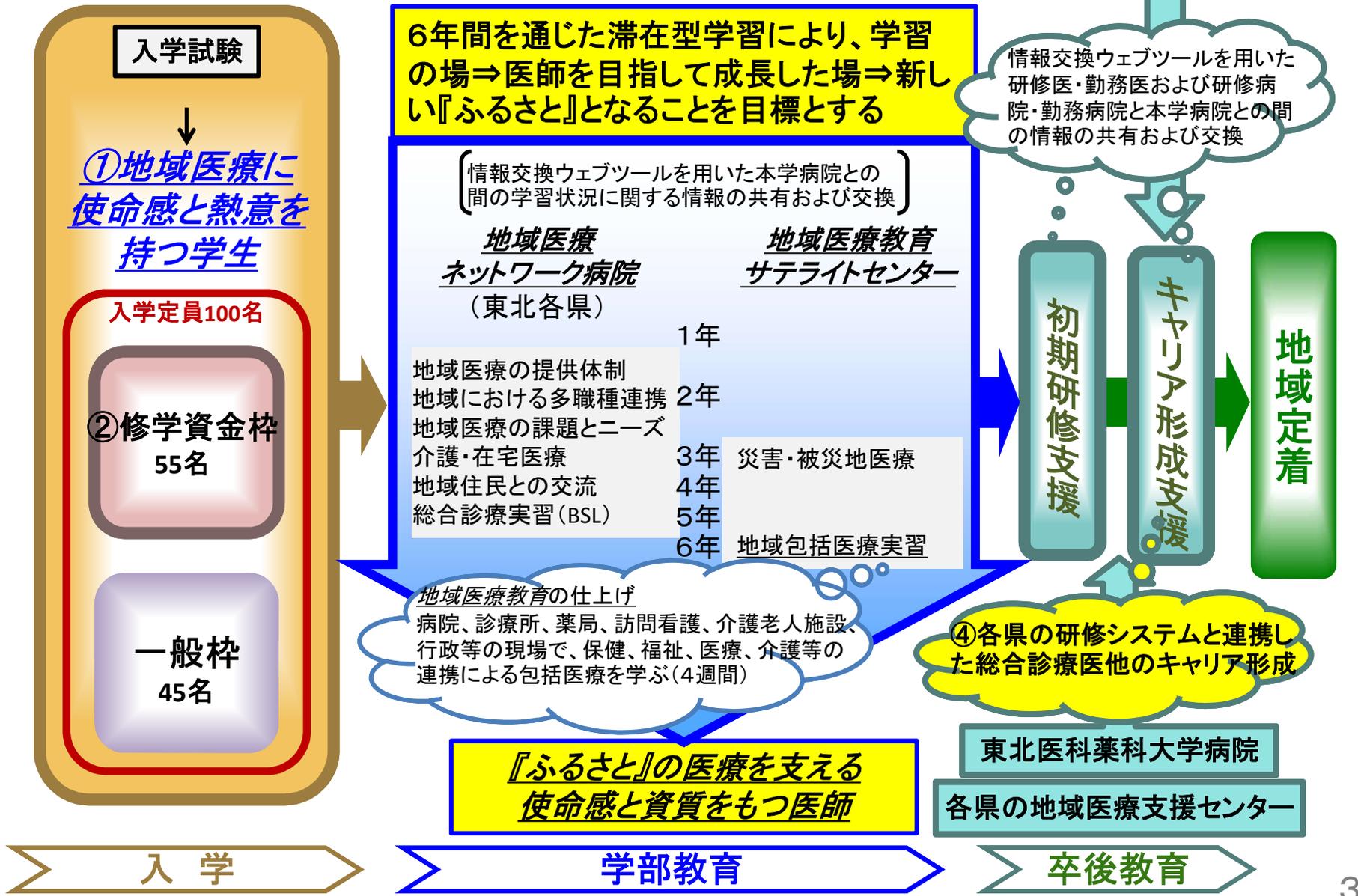
ミッション: 東北地方の復旧・復興の核となり、地域医療を恒久的に支える医学部

1. 地域医療に対する使命感を持った学生の入学
2. 地域医療と災害医療に対応できる総合診療医を養成する特色ある教育
3. 卒業生の地域定着を促すための方策と医師派遣
4. 本学薬学部の実績を生かした教育、疾患診断・薬剤開発研究
5. 被災地域の住民に対する健康管理や放射線被ばくに関する情報提供・健康相談

東北地方への地域定着

各県との緊密な連携により実施

③地域滞在型の地域医療教育



修学資金制度による地域定着の促進

1. A方式修学資金制度

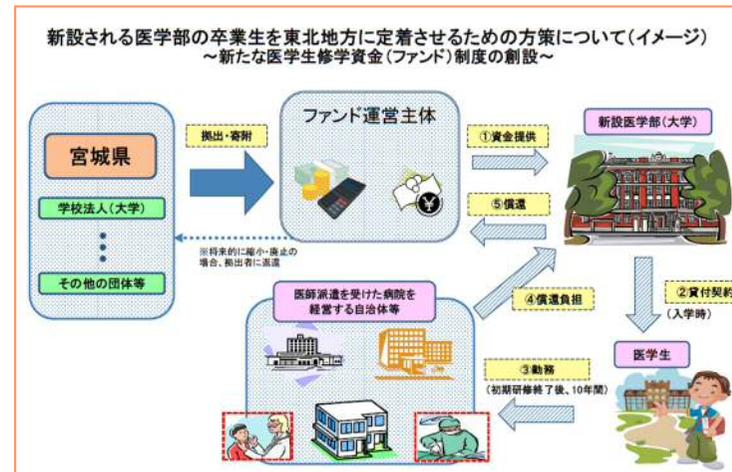
宮城県

- ・6年間の学費3,400万円のうち3,000万円
- ・対象人数:30人
- ・応募資格:全国
- ・義務:10年間、宮城県知事の指定する病院に勤務

東北5県(宮城県を除く)

- ・対象人数:5人
- ・応募資格:全国
- ・義務:受け入れ病院に10年間勤務

※宮城県作成



2. B方式修学資金制度

- ・学費約1/2相当額(1,500万円)-本学が貸与
- ・東北5県の修学資金と合わせ2600-3000万円
- ・対象人数:20人
- ・応募資格:全国
- ・義務:東北5県の修学資金制度の定める規定

修学資金制度の充実と入試制度

卒業後の東北地方への定着を促進し、学生を経済的に支援するための修学資金を設けます。入学定員100名のうち最大で55名までがこの制度を受けることができます。東北の医療を支える医師として地域医療に携わり、活躍してもらうことを目的としています。

【入試区分】 平成28年度 医学部 募集定員：100名

区 分	修学資金制度の内容	返還免除条件	金額(6年間)	定員数
修学資金枠	東北地域医療支援修学資金 (宮城県)	宮城県知事が指定する 医療機関等に10年間勤務すること (初期臨床研修期間の2年間を含まない)	3000万円 ※他の自治体の医学生修学資金との併用は不可	30名
	東北地域医療支援修学資金 (宮城県以外の東北5県)	宮城県以外の東北5県で 医療機関等に一定期間勤務すること (10年程度。義務年限は各県と 協議のうえ定める)		青森県 1名 岩手県 1名 秋田県 1名 山形県 1名 福島県 1名
	B方式 東北地域医療支援修学資金 (宮城県以外の東北5県)	宮城県以外の東北5県で 医療機関等に一定期間勤務すること (9年程度、義務年限は各県の 修学資金制度により定められている)	本学の修学資金 1500万円 + 各県の修学資金 約1100万円～	20名
一般枠	東北地域医療支援修学資金 制度の利用なし	—	他の修学資金の利用を 妨げるものではありません	45名

※修学資金枠 A方式、B方式、一般枠のいずれも、併願が可能です。希望順位をつけて志願してください。受験に当たり出身地、出身校は問いません。

アドミッション・ポリシー

1. 本学医学部の使命に共感し、将来、東北地方の地域医療・災害医療に従事して、地域住民の健康を支える使命感に燃えた学生を求めています。
2. 高度で専門的な知識と技能を兼ね備えながら、病める人とその家族の思いに共感できる強い意志と柔らかな心を持った医師をめざす学生を求めています。
3. 高等学校で理科、数学、英語を十分に習得し、論理的に考える姿勢と着実な学習習慣を身につけている学生を求めています。

H28年入学試験の結果

入試状況

	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質競争倍率
一般入試	100	2,458	2,278	297	100(19)	24.6倍	7.7倍

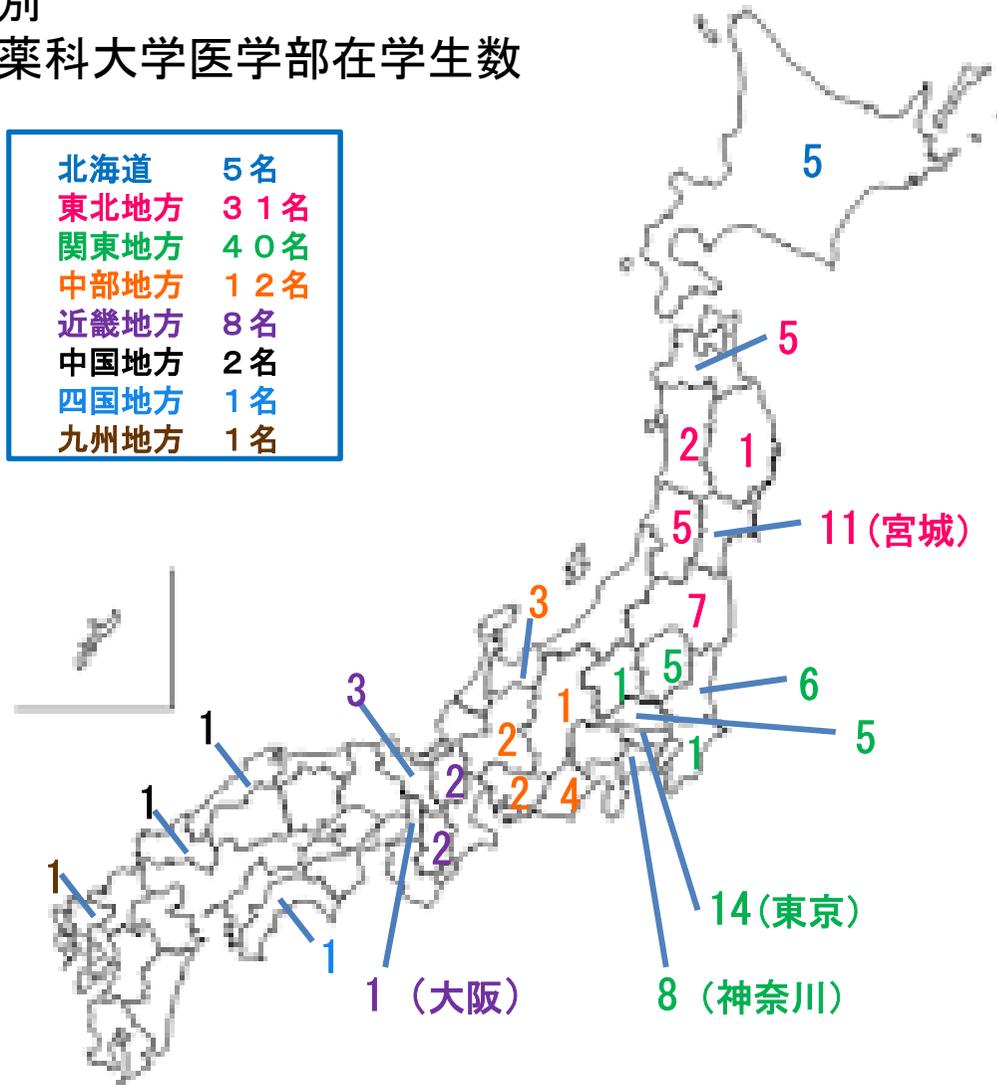
入学者の高校所在地別集計表

	A宮城	A青森	A岩手	A秋田	A山形	A福島	B	一般枠	計	
北海道地方	1	0	0	0	0	0	0	4	5	北海道地方
東北地方	5	1	1	1	1	1	10	11	31	東北地方
青森県	0	1	0	0	0	0	1	3	5	青森県
岩手県	0	0	1	0	0	0	0	0	1	岩手県
宮城県	4	0	0	0	0	0	2	5	11	宮城県
秋田県	0	0	0	1	0	0	1	0	2	秋田県
山形県	1	0	0	0	1	0	2	1	5	山形県
福島県	0	0	0	0	0	1	4	2	7	福島県
関東地方	13	0	0	0	0	0	7	20	40	関東地方
中部地方	4	0	0	0	0	0	2	6	12	中部地方
関西地方	5	0	0	0	0	0	0	3	8	関西地方
中国地方	1	0	0	0	0	0	0	1	2	中国地方
四国地方	0	0	0	0	0	0	1	0	1	四国地方
九州・沖縄地方	1	0	0	0	0	0	0	0	1	九州・沖縄地方
上記以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	上記以外
合計	30	1	1	1	1	1	20	45	100	合計

一期生100名の内訳

都道府県別
東北医科薬科大学医学部在学学生数

北海道	5名
東北地方	31名
関東地方	40名
中部地方	12名
近畿地方	8名
中国地方	2名
四国地方	1名
九州地方	1名



大学案内 Guide Book 2017より

在学生メッセージ

Message 01

歯科の知識を活かし、
災害医療に携わりたい

1年 志田 直樹

Naoki Shida

札幌光星高等学校 卒業



もともと私は、大学病院で5年間歯科医をしていました。大学病院の歯科でしたので、全身に疾患を抱える患者さんを診てきました。そして、次第に患者さんの全身の状態管理を学びたいと思うようになったんです。そんな時に、東北薬科大学で医学部が新設されるということで、出願させていただき、合格、晴れてこの春から、年下の同級生たちと一期生として学ぶことができることになりました。

将来は、災害医療に携わり、父と祖父が育った東北に貢献したいという思いがあります。東日本大震災などの災害が起こったときには、ひとりでも医師が多いほうがいいでしょうし、私には歯科の知識もありますので、お役に立てるのではないかと思っています。

Message 02

地域医療を学び、
社会に貢献できる医師に

1年 鈴木 紅音

Akane Suzuki

秋田県立秋田高等学校 卒業



祖母が介護病院に入院していて、「ここでは母の声を聞かえない」と言われたときに、介護医療はこれでもいいのか、という疑問を抱きました。それで、介護医療に重きを置いた医師になりたいと思い、医学部への進学を希望。私には、地域医療に力を入れている本学が合っていると思いました。

仙台には、二次試験の面接で初めて来たのですが、部会で食べ物もおいしくて、とてもいいところだと思いました。今は、卒業後もできれば仙台に残りたいと思っています。尚としての魅力もそうですが、人も素晴らしいです。震災の後で東北楽天ゴールデンイーグルスが優勝したり、羽生結弦選手が金メダルを取ったり、東北の力を感じます。こういう土地で子どもを育て、医師として貢献したいです。

設置した教室

- 基礎医学教室(12)

解剖学、生理学、神経科学、薬理学、病理学、医化学、微生物学、免疫学、放射線基礎医学、医療管理学、衛生学・公衆衛生学、法医学

- 臨床医学教室(23)

内科学第一(呼吸・循環)、内科学第二(消化器・糖尿病)、内科学第三(腎・内分泌・免疫)、地域医療学、老年神経内科学、腫瘍内科学、精神科学、小児科学、外科学第一(肝胆膵・消化器)、外科学第二(呼吸器)、外科学第三(乳腺・内分泌)、心臓血管外科学、整形外科学、脳神経外科学、皮膚科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、産婦人科学、泌尿器科学、放射線医学、麻酔科、リハビリテーション学、救急・災害医療学

- 医学教育推進センター

- 病院設置部(専任教員配置)

薬剤部(薬剤部長は薬学部教授)、中央検査部、医療安全部、感染制御部、手術部等

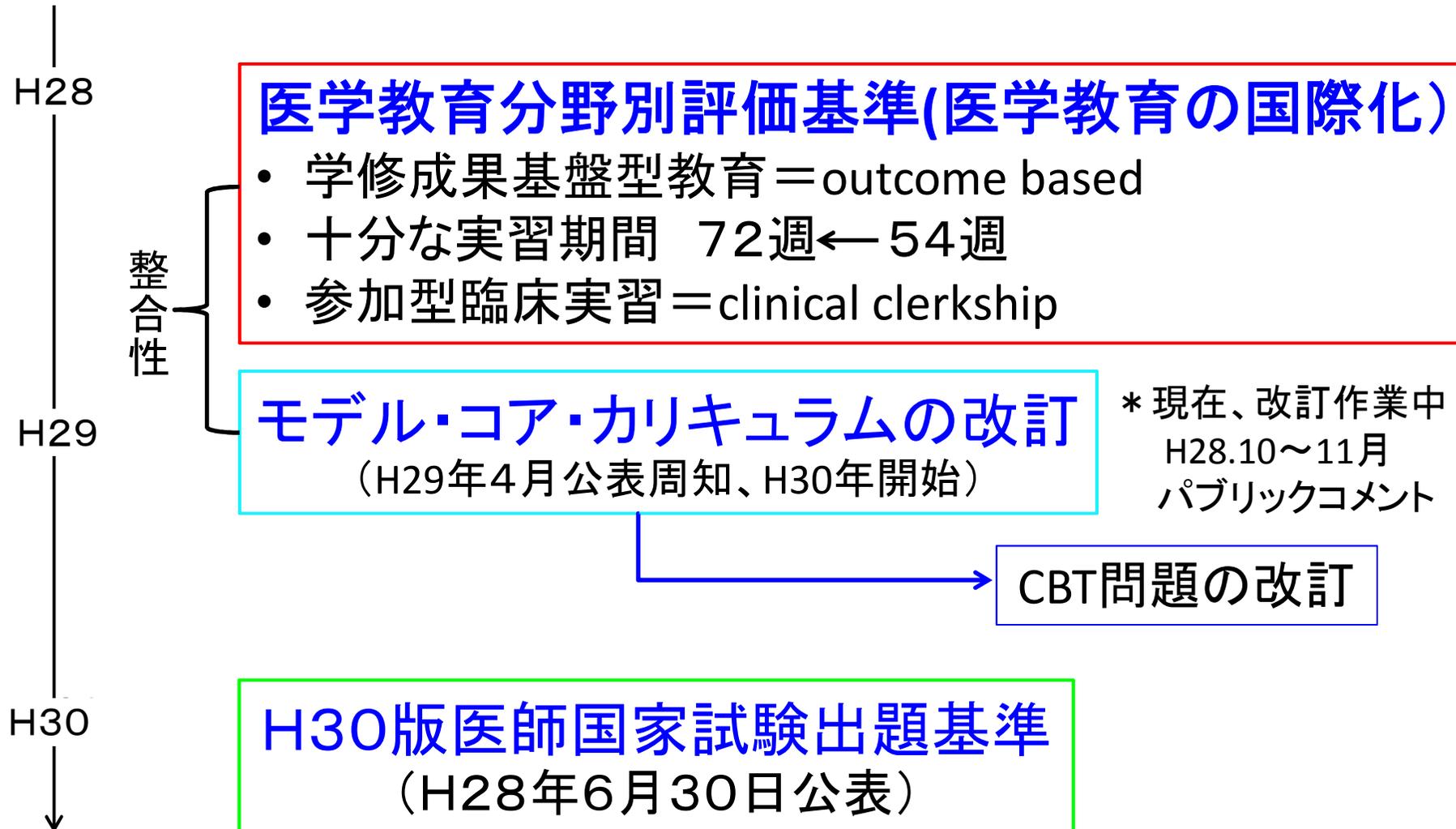
教員：基礎系教室教授

教員・スタッフ紹介 <医学部>	
 <p>基礎系 臨床系</p> <p>【講師】19名 【教授】27名 【助教】37名 【准教授】33名 【助手】2名 ※学年の進行に伴い、教員はさらに充実されます。</p>	
<p>【解剖学】</p> <p>上条 桂樹 教授 【医学博士】</p>	<p>【生理学】</p> <p>河合 佳子 教授 【博士(医学)】</p>
<p>【神経科学】</p> <p>松坂 義哉 教授 【博士(医学)】</p>	<p>【薬理学】</p> <p>岡村 信行 教授 【博士(医学)】</p>
<p>【病理学】</p> <p>中村 保宏 教授 【博士(医学)】</p>	<p>【医化学】</p> <p>森口 尚 教授 【博士(医学)】</p>
<p>【微生物学】</p> <p>神田 博 教授 【博士(医学)】</p>	<p>【免疫学】</p> <p>中村 晃 教授 【博士(医学)】</p>
<p>【放射線基礎医学】</p> <p>栗政 明弘 教授 【博士(医学)】</p>	<p>【法医学】</p> <p>高木 徹也 教授 【博士(医学)】</p>
<p>【医療管理学】</p> <p>濃沼 信夫 教授 【医学博士】</p>	
<p>【衛生学・公衆衛生学】</p> <p>目時 弘仁 教授 【博士(医学)】</p>	

教員：臨床系教室教授・診療科長等

<p>【内科学第一(循環器内科)】</p> <p>片平 美明 准教授 [医学博士]</p>	<p>【内科学第一(呼吸器内科)】</p> <p>海老名 雅仁 教授 [医学博士]</p>	<p>【内科学第二(消化器内科)】</p> <p>山本 毅 准教授 [博士(医学)]</p>	<p>【内科学第二(糖尿病代謝内科)】</p> <p>赤井 裕輝 准教授 [医学博士]</p>
<p>【内科学第三(腎臓内分泌内科)】</p> <p>森 建文 准教授 [博士(医学)]</p>	<p>【内科学第三(血液・リウマチ科)】</p> <p>小寺 隆雄 准教授 [博士(医学)]</p>	<p>【地域医療学】</p> <p>古川 勝敏 教授 [博士(医学)]</p>	<p>【老年神経内科学】</p> <p>藤盛 寿一 准教授 [博士(医学)]</p>
<p>【腫瘍内科学】</p> <p>木場 崇剛 准教授 [博士(医学)]</p>	<p>【精神科学】</p> <p>鈴木 映二 教授 [博士(医学)]</p>	<p>【小児科学】</p> <p>森本 哲司 准教授 [博士(医学)]</p>	<p>【外科学第一(肝胆脾外科)】</p> <p>岩指 元 講師 [博士(医学)]</p>
<p>【外科学第一(消化器外科)】</p> <p>柴田 近 教授 [博士(医学)]</p>	<p>【外科学第二(呼吸器外科)】</p> <p>近藤 丘 教授 [医学博士] 田畑 俊治 教授 [博士(医学)]</p>	<p>【外科学第三(乳腺・内分泌外科)】</p> <p>朴 英進 教授 [博士(医学)]</p>	<p>【心臓血管外科学】</p> <p>渡辺 卓 講師 [博士(医学)]</p>
<p>【整形外科】</p> <p>小澤 浩司 教授 [博士(医学)]</p>	<p>【皮膚科学】</p> <p>岡 昌宏 教授 [博士(医学)]</p>	<p>【眼科学】</p> <p>高橋 秀肇 准教授 [博士(医学)]</p>	<p>【耳鼻咽喉科学】</p> <p>太田 伸男 教授 [博士(医学)]</p>
<p>【産婦人科学】</p> <p>渡部 洋 教授 [博士(医学)]</p>	<p>【放射線医学】</p> <p>福田 寛 教授 [医学博士] 小山 周樹 教授 [医学博士]</p>	<p>【麻酔科学】</p> <p>星 邦彦 講師 [医学博士]</p>	<p>【リハビリテーション学】</p> <p>室谷 嘉一 准教授 [博士(医学)]</p>
<p>【救急・災害医療学】</p> <p>遠藤 智之 准教授 [博士(医学)]</p>	<p>【臨床検査部】</p> <p>高橋 伸一郎 教授 [博士(医学)]</p>	<p>【手術部】</p> <p>吉田 明子 講師 [博士(医学)]</p>	
<p>【感染制御部】</p> <p>関 雅文 准教授 [博士(医学)]</p>	<p>【医学教育推進センター】</p> <p>大野 勲 教授 [医学博士]</p>		

医学教育変革のながれ



本学教育カリキュラム

モデル・コア・カリキュラムを基に

特色ある地域医療教育で地域に根ざす総合診療医を養成



大野 勳
(医学教育推進センター長)

医学教育の質の保証や医学・医療の国際化への対応

医学教育分野別評価基準準拠

- 2年間の診療参加型臨床実習 (クリニカル・クラークシップ)

- 被災地に滞在し災害時の医療学習、
- 被災後の住民の健康・ストレス対策、
- 放射線に対する正しい知識(放射線施設の見学等)

特色のある災害医療教育

- 被災地石巻サテライトセンターの活用
- 独自の放射線生体影響の教育

モデル・コア・カリキュラム 医学教育

地域滞在型の地域医療教育

- 石巻・登米サテライトセンター
- 地域医療ネットワーク病院

低学年: 少人数グループで1, 2泊程度で地域病院、介護施設等の医療現場訪問

高学年: 地域臨床実習(2週間)、地域包括医療実習(4週間)

地域医療を担う総合診療力の育成

- 地域総合診療実習
- 地域包括医療実習
- 総合診療学演習

薬学の基礎知識を学習

本学薬学部の実績を活かした薬物動態、相互作用、副作用について学習

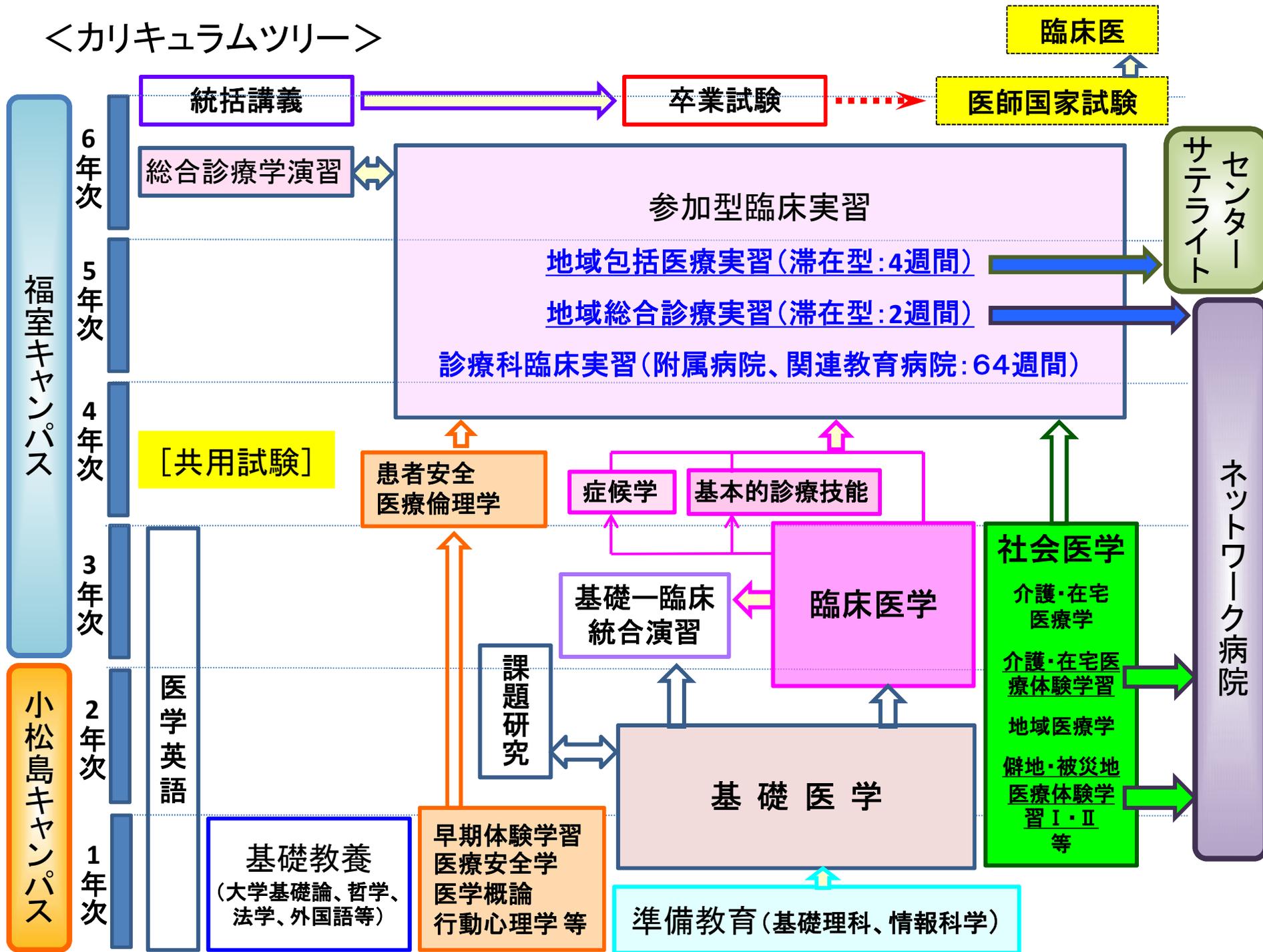
教育指導体制



教務委員会		学生委員会	
委員長	大野 勲	委員長	河合 佳子
委員	柴田 近	委員	大野 勲
委員	古川 勝敏	委員	神田 輝
委員	上条 桂樹	委員	松坂 義哉
委員	河合 佳子	委員	森口 尚
委員	目時 弘仁	委員	高木 徹也
委員	片平 美明		
委員	太田 伸男	組担任	西村 嘉晃
委員	藤井 喜充	組担任	村上 任尚
委員	中村 晃	組担任	上村 聡志
委員	中村 保宏	組担任	山田 千歩

医学教育推進センター	
センター長	大野 勲
委員	柴田 近
委員	古川 勝敏
委員	上条 桂樹
委員	河合 佳子
オブザーバ	亀岡 淳一

<カリキュラムツリー>



充実したカリキュラムと 地域医療ネットワーク病院と連携した教育

医師としての
基本的資質

+

地域医療を支える
総合診療力

+

災害医療

+

薬学の
基礎知識

の習得が可能

講義・実習スケジュール Curriculum and Schedule

小松島キャンパス		福室キャンパス			
1st grade	2nd grade	3rd grade	4th grade	5th grade	6th grade
● 早期医療体験学習	● 医療コミュニケーション学	● 放射線基礎医学	● 放射線基礎医学体験学習	● 参加型臨床実習	● 総合診療学演習 (PBL)
● 衛生学	● 衛生学体験学習	● チーム医療体験学習	● 地域医療学	● 救急・災害医療学	● 総合診療学演習 (PBL)
● 地域医療学	● 僻地・被災地医療体験学習 I	● 公衆衛生学	● 被ばく医療演習	● 救急・災害医療体験学習	● 総合診療学演習 (PBL)
● 介護在宅医療学	● 介護在宅体験学習	● 医療管理学	● 僻地・被災地医療体験学習 II	● 高齢者医学	

地域医療 災害医療

1・2年次 基礎・教養科目に加えて、滞在型体験学習を実施

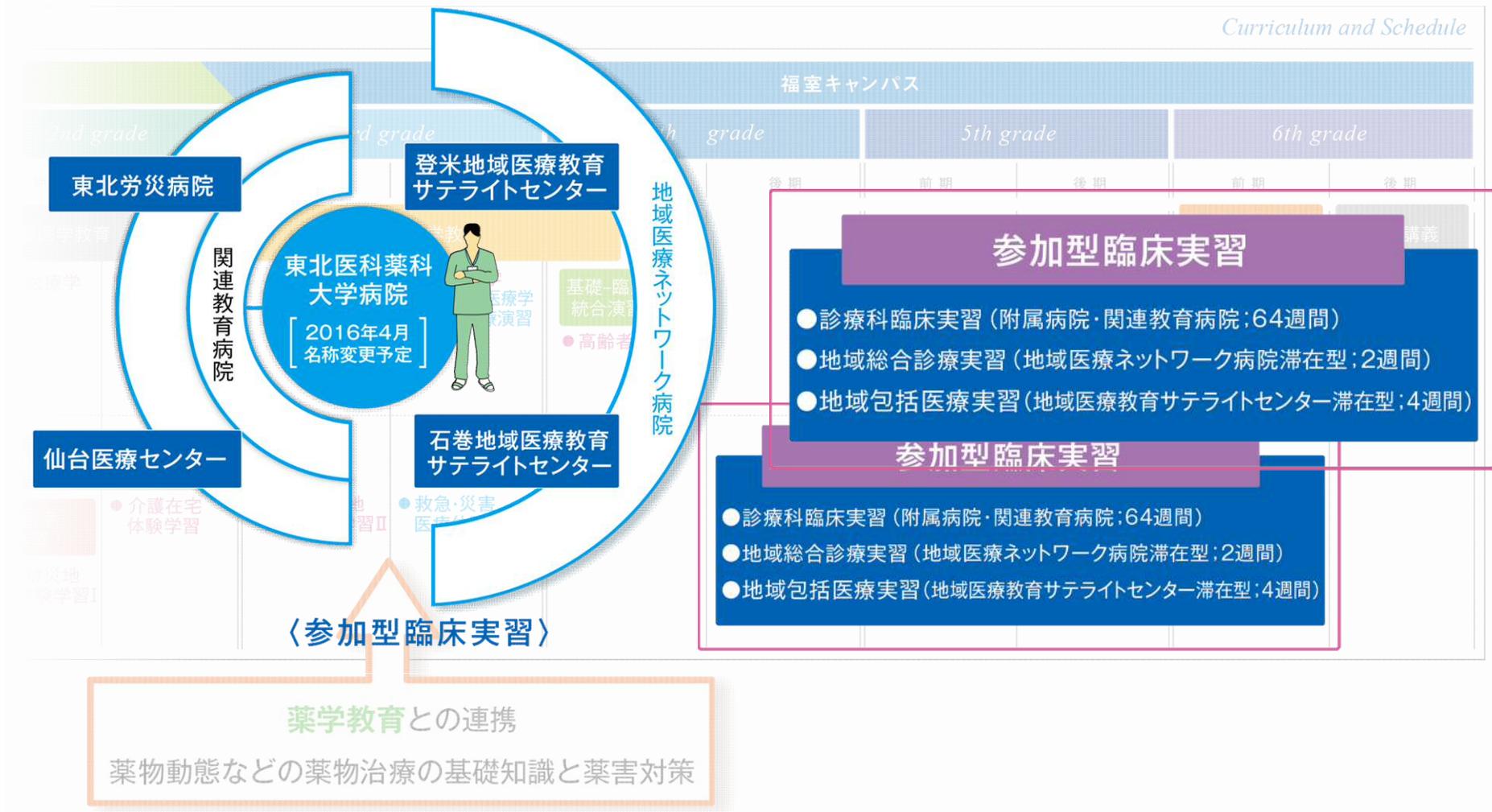
講義・実習スケジュール

小松島キャンパス						
1st grade		2nd grade		3rd grade		
前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎・教養教育		基礎医学教育		臨床医学教育		
<ul style="list-style-type: none"> ● 医療コミュニケーション学 ● 衛生学 ● 放射線基礎医学 		<ul style="list-style-type: none"> ● 地域医療学 ● 公衆衛生学 ● 介護在宅医療学 		<ul style="list-style-type: none"> ● 医療管理学 ● 救急・災害医療学 ● 被ばく医療学 		
基礎理科実習		基礎医学実習		臨床医学実習		
<ul style="list-style-type: none"> ● 早期医療体験学習 		<ul style="list-style-type: none"> ● 衛生学体験学習 ● チーム医療体験学習 ● 放射線基礎医学体験学習 		<ul style="list-style-type: none"> ● 僻地・被災地医療体験学習II ● 救急・災害医療体験学習II 		
		<ul style="list-style-type: none"> ● 解剖学実習 ● 僻地・被災地医療体験学習I 		<ul style="list-style-type: none"> ● 介護在宅体験学習 		

3~6年次

専門性を深めていき、4年次後半よりはじまる参加型臨床実習で地域にふれあい、総合診療力を身につけます

Curriculum and Schedule



福室キャンパス

仙石線 陸前高砂駅
(仙台駅から17分)



近藤 丘 病院長

【東北薬科大学病院】



東北薬科大学病院は急性期型総合病院として総合的医療サービスを提供することに基盤を置いており、東北地区の基幹病院として広く利用されています。特殊な機能として、充実したリハビリテーション施設を付設し、予防、治療から医学的リハビリテーション、在宅医療に至るまでの一貫した治療を行っています。また、生活習慣病健診、人間ドックなどの予防医学活動も積極的に行っております。さらに、県内外の医療機関と密接な連携を図りながら、最善かつ高水準のがん診療を展開しております。



1. 研究棟(解剖実習棟 H29年)
(研究棟 H30年)
2. 新病院棟(150床程度-H31年)
3. 現病院棟(466床)

医学部の教育研究棟を福室キャンパスに2018年春までに建設します。

福室キャンパス

2017年 始動!

FUKUMURO CAMPUS

第1教育研究棟・第2教育研究棟

低層は基礎・臨床医学の学習・教育エリア、
上層は専門性の高い研究・実験エリアを配置。



東北医科薬科大学病院に隣接して建築中の教育研究棟は、基礎・臨床医学学習のための教育エリアと、研究・実験エリアの2つのエリアからなり、さらに大学附属病院の新棟も建設されます。

七北田川に臨む落ち着いた環境で勉強や実習に打ち込むことができます。

地域滞在型の地域医療学習を担う病院 —地域医療ネットワーク病院

地域医療ネットワーク病院・サテライトセンター

石巻市立病院
平成28年7月
開院予定
**石巻地域医療教育
サテライトセンター**
(6診療科, 180床)



仙台医療センター
(32診療科, 698床)

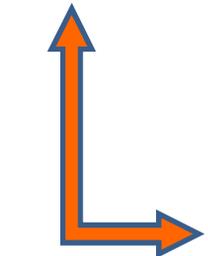
関連教育病院



東北医科薬科大学病院
(22診療科, 466病床)

東北労災病院
(22診療科, 548床)

登米市民病院
**登米地域医療教育
サテライトセンター**
(15診療科, 258床)



H28.4.1開設

- ① 気仙沼市立病院(18診療科,451床)
- ② 南三陸病院(9診療科,90床)
- ③ 登米市民病院(15診療科,258床)
- ④ 栗原中央病院(16診療科、300床)
- ⑤ 大崎市民病院(40診療科,456床)
- ⑥ 石巻市立病院(6診療科,180病床)
- ⑦ 石巻赤十字病院(26診療科,452床)
- ⑧ みやぎ県南中核病院(23診療科,310床)
- ⑨ 公立刈田総合病院(19診療科,308床)



大学基礎論

- 各県当局からの県紹介・地域の特徴(3回)
- 自分を知る・人を知る・地域を知る
- 人間関係づくり(自己理解、他者理解、傾聴)
- 討論スキル1(私の対人関係図、マイ・マップ)
- 討論スキル2(グループ発表・報告・検討・質問)
- 指定図書から想像力や論理的思考能力を鍛える(2回)
- 訪問学習—東北の人と生活・文化を知る
- 発表・討論

早期体験学習(1学年前期)



東北医科薬科大学病院



宮城県立こども病院(小児医療)



スズキ記念病院(女性医療)



たんぽぽクリニック(緩和医療)



開業医師



介護老人保健施設



保険調剤薬局

医療・薬剤・保健・介護など多職種が関与する
医療の現場を早期から見学・体験

仙台市医師会、仙台市薬剤師会の
全面協力のもとで実施



学生時代の友情のシンボル

高山樗牛冥想の松

いくたびかこ々に

真昼の夢見たる

高山樗牛冥想の松

歌詞 樗牛の詩友 土井晩翠

書 樗牛の学友 笹川臨風

(昭和16年6月1日 記念碑建立式典)